



この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

項目	時間枠 月 日 (手術前日)	手術日 月 日	
		手術前	手術後
患者目標	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 手術後に必要な物品の準備ができる (T字帯2枚、バスタオル1枚)。 手術後の経過が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる。 家族は、手術当日の来院時間、場所がわかる。	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 食べたり飲んだりしないことが守れる。	手術後に必要な処置を受け入れることができる。 管の違和感、痛み、吐き気や頭痛などの症状出現した時、医療者に伝えることができる。 手術後の禁止事項 (指示があるまで歩行できないこと、尿の管は医師の指示があるまで抜去できないこと) などが守れる。
治療処置	夕食後か寝る前に、下剤を飲みます。	手術室は3階です。 手術は、 番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。 二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます。 朝、浣腸を行います。 	医師の指示で、酸素マスクをつける事があります。 痛みがあるときは痛み止めを使いますので、お知らせください。
検査		特に予定をしている検査はありません。検査があれば、随時お知らせします。	
患者様及びご家族への説明	主治医、病棟看護師が入院後の予定や手術について説明します。 退院後の生活の中での注意点を説明します。 手術を担当する麻酔科医、手術室看護師が、手術中の事について病室で説明します。 	ご家族は、手術開始30分前には、直接病棟へおこしてください。 手術中ご家族は、7階のデイルームまたはお部屋でお待ちいただきます。 手術終了までは、どなたか必ず7階のデイルームまたはお部屋に待機していただくよう、お願い致します。	ご不明な点がありましたら、遠慮なくお尋ねください。 
検温	入院時に検温 (熱、脈拍、血圧測定) をします。 	朝、浣腸前に検温をします。	手術後は適宜、検温をします。 
安静度 (活動)	特に制限はありません。		手術後医師の指示があるまで、ベッド上で安静に過ごします。 用件時は、ナースコールを押してください。 
排泄	特に制限はありません。 便秘症の方はお知らせください。	朝、浣腸をします。	尿の管は入れたままです。 必要に応じて尿の管から洗浄します。 便意がある時は、看護師にお知らせください。 
食事	食事はお部屋にご用意します。(朝食7時頃、昼食12時頃、夕食18時頃) 夕食以降の飲食は、医師の指示に従いましょう。	食べたり、飲んだりはできません。 	手術後、医師の指示で、水分を摂取できます。 午前中手術の方は、医師の指示で夕食より食事を開始します。 
清潔	入浴またはシャワーに入り、髪を洗いましょう。 爪が伸びている場合は、切りましょう。 	手術前は制限はありません。(洗顔や歯磨き可) 	入浴・洗髪はできません。 歯磨きはできます。(看護師がベッドにご用意します)
薬剤	入院の際、内容確認のため普段飲んでいるお薬 (医師から処方された薬) を、一度預かります。 続けて飲む場合は、説明します。 	手術前の薬は、医師の指示に従いましょう。 手術前に腕から点滴をします。 (朝一番の手術の場合、手術室で点滴します。)	お食事が開始になれば、内服も始まります。 ただし、薬を飲まない場合は、再度お知らせします。 
手続きその他	診断書などの書類の申請がある場合は、外来支払い窓口に書類と一緒に提出しましょう。 (書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください) 	時計、コンタクト、指輪、入れ歯などつけているものをすべて取り外して手術衣に着替えます。 肺塞栓予防のストッキングをはきます。 (手術衣、肺塞栓予防のストッキングは病院で用意します) 	手術当日は、肺塞栓予防のストッキングは着用したままです。 

この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

時間枠 項目	手術後 1 日目 月 日	退院後から再診日までの注意事項
患者 目標	手術後必要な処置を受け入れることができる。 創痛、頭痛などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる。 水分を 1 日 1000ml 程度摂取できる。 退院後の日常生活注意事項、外来受診の必要性が理解できる。	
治療 処置	診察を行います。 痛みがあるときは痛み止めを使います。	<p><感染予防> 膀胱炎など尿路感染症が起きる場合があります。 水分を多めに (1 日 1000~1500ml 目安) 摂るようにしましょう。 38 度以上の熱がある場合は、ご連絡ください。 抗生物質を内服します。主治医の指示通りに必ず飲みましょう。</p> <p><出血予防> 退院 2 週間後くらいに血尿が出ることがあります。 退院後 2 週間は尿の色を観察しましょう。 血尿は一時的な薄いものであれば心配いりませんが、 続く場合や、濃くなる場合はご連絡ください。 下腹部に力を入れ、いきむことで出血を招くことがあります。 以下のことに気をつけましょう。 ①便秘をしないようにしましょう。 ②自転車やバイクは次回の受診日まで控えてください。散歩はできます。 ③長風呂、温泉、サウナは次回の受診日まで控えましょう。 ④アルコールや香辛料は次回の受診日まで避けましょう。</p> <p><内服> 検査のために中止されているお薬のある方は、 月 日より開始してください</p> <p><受診> 再診日は必ず受診してください。 帰宅後、初回再診日の変更を希望される場合は、総合予約室までご連絡ください。 退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安なことがありましたら、 下記連絡先に、お電話をください。</p> <p style="text-align: right;">宮崎大学医学部附属病院 泌尿器科外来 0985-85-9317 泌尿器科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225</p>
検 査	予定をしている検査はありません。	
患者様 及び ご家族へ の説明	診察時に経過についてお話しします。 (主治医)	
検 温	朝、午前に検温をします。	
安静度 (活動)	手術後最初に歩く時は、看護師と一緒に歩きます。 その後ふらつき、気分不快などなければ、一人で歩けます。 尿の管が入っているときは、歩く時に引っ張らないように気をつけましょう。 	
排 泄	濃い血尿がなければ尿の管は抜きます。 尿の管を抜いた後、最初の尿は、カップにとって血尿がないか確認します。 トイレに行かれる前に看護師にお知らせください。 尿の管を抜いた後、4 時間しても尿が出ない場合や、血尿が濃くなる場合はお知らせください。	
食 事	食事をお部屋にご用意します。 (朝食 7 時頃)	
清 潔	点滴や尿の管が抜けた後は、シャワーに入れます。 	
薬 剤	医師の指示で点滴を抜きます。 抗生物質の内服を開始します。退院後なくなるまで飲み忘れないようにしてください。	
手続き その他	肺塞栓予防のストッキングを脱ぐ際は看護師からお知らせします。 入院費は退院日に精算となります。前もって金額が知りたい方は看護師または事務員にお知らせ下さい。	